

学校法人 金沢医科大学 平成28年度決算

学校法人金沢医科大学の平成28年度決算が、5月30日（火）開催の第241回理事会及び第129回評議員会において承認されました。その概要及び収支等の状況は次のとおりです。

1. 事業活動収支計算書の状況

【教育活動収入】

(1) 学生生徒等納付金

前年比9千2百万円増の52億6百万円となりました。学生数は、医学部生702名、大学院医学研究科生136名、看護学部生308名、大学院看護学研究科生14名の合計1,160名です。

(2) 手数料

医学部及び看護学部の入学検定料ほかで2億4千2百万円となりました。医学部の平成29年度入学志願者は3,883名です。

(3) 寄付金

前年比1億7千万円増の7億4千7百万円となりました。

(4) 補助金

前年比5百万円増の14億7千4百万円となりました。

うち、私立大学等経常費補助金は12億8千5百万円、その他の補助金は1億5千5百万円で、内灘町公的病院等運営費補助金が5千万円増額され1億円の交付となりました。

(5) 医療収入

医療収入の総額は、前年比4億7千9百万円増の204億5千5百万円となりました。

入院収入は、一日平均患者数が4.2人減少し、病床利用率が0.6%減少しましたが、診療単価が3.8%増加したため、前年比3億8千8百万円増の146億6百万円となりました。

また、外来収入は、診療日数が1日少なく述べ患者数が0.5%減少し、一日平均患者数も1,168人で0.1%減少しましたが、診療単価が2.0%増加したため、前年比9千1百万円増の58億4千9百万円となりました。

以上により、平成28年度の教育活動収入の合計は、前年比7億1千1百万円増の287億5千3百万円となりました。

【教育活動支出】

(1) 人件費

人件費総額は、前年比4億1千7百万円増となる140億3千1百万円となりました。うち、教員人件費は、6千3百万円増の40億6千4百万円、職員人件費は看護職員の増員等により、2億5千5百万円増の91億5百万円となり、役員報酬は9千9百万円となりました。

また、退職給与引当金繰入額及び退職金は、1億1百万円増の7億6千3百万円となっています。

(2) 教育研究経費

医学部及び看護学部の国家試験強化対策、大学院及び総合医学研究所の研究活性化推進、医師及び看護師の定着を目的とした奨学金給付などで20億3千3百万円となりました。

(3) 医療経費

前年比 6 億 2 千 6 百万円減の 100 億 8 千 7 百万円となりました。

うち薬品費が 7 千 3 百万円の増、医療材料費が 2 億 3 千 5 百万円の増、その他の医療経費は、前年度に病院本館解体工事があったため、9 億 3 千 8 百万円の減となりました。

(4) 減価償却額等

減価償却額は、前年比 1 億 7 千万円増の 31 億 1 千 5 百万円となりました。これは、前年度に取得した施設や高度先進医療機器などの償却額が新たに増加したためです。

以上により、平成 28 年度の教育活動支出の合計は、前年比 5 千 3 百万円増の 299 億 3 百万円となりました。

この結果、教育活動収支差額は、前年比 6 億 5 千 8 百万円増となる 11 億 5 千万円の支出超過となりました。

【教育活動外収支】

受取利息・配当金と短期借入金の利息で、教育活動外収支差額は、差し引き 1 千 8 百万円となりました。

【特別収入】

その他の特別収入

橘会からのクラブハウス建設に係る施設設備寄付金 3 億円、現物寄付 3 千 5 百万円、文部科学省及び石川県の施設設備補助金 6 千 2 百万円、過年度修正額 2 百万円を合わせ特別収入の合計は 3 億 9 千 9 百万円となりました。過年度修正額は、過去に徴収不能として計上していた医療未収金を回収したものです。

【特別支出】

資産処分差額

施設設備の除却による処分差額は 12 億 1 千 2 百万円減の 8 千 6 百万円となりました。減少したのは、前年度に病院本館解体に係る建物処分差額があったためです。

【特別収支差額】

特別収入合計 3 億 9 千 9 百万円から、特別支出合計 8 千 6 百万円を差引いた、特別収支差額は、3 億 1 千 3 百万円となりました。

【事業活動収支差額】

以上により、事業活動収入計 291 億 7 千 5 百万円から、事業活動支出計 299 億 9 千 4 百万円を差引いた当年度最終収支差額（当期利益）は、8 億 1 千 9 百万円の支出超過となりました。

事業活動収支計算書

(自)平成28年4月1日

(至)平成29年3月31日

(単位：百万円)

科 目	金額	前年比	科 目	金額	前年比
教育活動収入計	28,753	711	教育活動支出計	29,903	53
学生生徒等納付金	5,206	92	人件費	14,031	417
手数料	242	▼6	教育研究経費	2,033	118
寄付金	747	170	医療経費	10,087	▼626
補助金	1,474	5	管理経費	633	▼27
付随事業収入	338	▼59	減価償却額等	3,119	171
医療収入	20,455	479			
雑収入	291	30			
			教育活動収支差額	△1,150	658
教育活動外収入計	23	▼40	教育活動外支出計	5	▼1
受取利息・配当金	23	▼40	借入金等利息	5	▼1
			教育活動外収支差額	18	▼39
特別収入計	399	▼528	特別支出計	86	▼1,212
特定資産償還差額	0	▼838	資産処分差額	86	▼1,212
その他の特別収入	399	310	特別収支差額	313	684
事業活動収入計	29,175	143	事業活動支出計	29,994	▼1,160
			事業活動収支差額	△819	1,303

(注) △は計算書式上のマイナス表示、▼は比較上のマイナス表示。

前年比は平成27年度決算との比較です。(以下同じ)

2. 資金収支計算書の状況

【主な資金収入・支出】

※事業活動収支計算書で説明した項目については割愛させていただきます。

(1) 借入金等収入

病院中央棟建設資金の一部に充てるため、日本私立学校振興・共済事業団と融資契約を締結し、30億円を借り入れました。借入期間は20年です。

期中の運転資金として銀行から15億円を借入れしました。

また、教育振興基金(学校債)を募集し、2億5千万円の資金調達を行いました。

(2) 特定資産取崩収入

減価償却引当特定資産から計画どおり47億円を当年度の支払資金に繰り入れました。

(3) 借入金等返済支出

期中に借入れた短期借入金15億円を返済しました。

また、学校債については、定期償還及び繰上償還等で4億4千5百万円を返済しました。

(4) 施設・設備関係支出

施設関係支出では、高松球技場土地取得費1億3千4百万円、病院中央棟建設費(着手金及び中間金)46億1千8百万円、病院中央棟設計監理料1億6百万円、中央監視装置更新工事2億1

千2百万円、ハートセンター改修費4千3百万円、乳腺センター新設工事4千2百万円、高松球技場建設費5億4千8百万円などで、合計59億4百万円を支出しました。

設備関係支出では、心血管撮影装置2億5千7百万円、X線撮影装置1億円、超音波診断装置3千7百万円、画像ファイリングシステム3千4百万円、共焦点スペクトルライブイメージャー3千3百万円（文部科学省補助金1千1百万円）及び医療機器の更新費などで、合計8億5千6百万円を支出しました。

(5) 貸付金支払支出

医学部生31名に1億2百万円、看護学部生229名に1億1百万円、大学院看護学研究生6名に1百万円、合計2億4百万円を支出しました。

以上の資金収支計算の結果、平成28年度の翌年度繰越支払資金（手持運転資金）は前年比31億3千1百万円増となる90億1千2百万円となりました。

資金収支計算書

（自）平成28年4月1日

（至）平成29年3月31日

（単位：百万円）

収入の部			支出の部		
科目	金額	前年比	科目	金額	前年比
学生生徒等納付金収入	5,206	92	人件費支出	14,160	549
手数料収入	242	▼6	教育研究経費支出	2,030	116
寄付金収入	1,044	469	医療経費支出	10,117	▼606
補助金収入	1,536	32	管理経費支出	633	▼27
付随事業収入	338	▼59	借入金等利息支出	5	▼1
医療収入	20,455	479	借入金等返済支出	1,945	▼107
受取利息・配当金収入	23	▼40	施設関係支出	5,904	4,732
雑収入	293	27	設備関係支出	856	▼866
借入金等収入	4,750	2,980	貸付金支払支出	204	▼10
前受金収入	2,677	24	その他の支出	3,122	23
特定資産取崩収入	4,700	3,150			
その他の収入	4,041	341			
資金収入調整勘定	△ 6,311	26	資金支出調整勘定	△ 3,113	▼16
前年度繰越支払資金	5,881	▼597	翌年度繰越支払資金	9,012	3,131
収入の部合計	44,875	6,918	支出の部合計	44,875	6,918

3. 貸借対照表の状況

【主な増減】

(1) 資産の部

資産総額は、前年比18億8千9百万円増の585億7百万円となりました。

土地が1億4千8百万円増加しているのは、高松球技場用地を取得したためです。

建物および構築物が8億3千8百万円減少しているのは、除却額及び減価償却額が取得額を上回ったためです。

4. 金沢医科大学氷見市民病院の状況

平成28年度は、医業収益が前年比1億9千6百万円減の50億4千6百万円、これに対する医業費用が前年比1億4千9百万円減の55億1千万円で、医業外収益3億8千9百万円を加えた当期の経常利益は、7千5百万円の支出超過となりました。

(1) 損益計算書

医業収益は、診療単価の減少などにより前年比1億9千6百万円減の50億4千6百万円となりました。うち、入院収益は、前年比1億4千1百万円減の32億1千5百万円、外来収益は、前年比5千7百万円減の18億1千万円です。

医業費用は、前年比1億4千9百万円減の55億1千万円で、うち、材料費が前年比2億1千3百万円減の13億5千1百万円、給与費が前年比4千8百万円増の30億6千6百万円、委託費は5億2千5百万円、設備関係費が1億2千万円、その他の経費で2億2千万円、氷見市へ支払う指定管理者負担金は4千2百万円増の2億2千8百万円です。

医業外収益は、計3億8千9百万円で、うち氷見市からの交付金など補助金収益は3億8千1百万円です。

(2) 貸借対照表

資産総額は13億1千1百万円、負債総額は11億9千9百万円、純資産は1億1千2百万円です。

流動資産は12億2千5百万円です。

うち、現金預金は9百万円、未収入金は11億8千万円、貯蔵品は3千8百万円です。

流動負債は7億2千3百万円です。

うち、未払金は5億1千万円、預り金は4千9百万円、賞与引当金は1億6千4百万円です。

固定負債は退職給付引当金で4億7千6百万円です。

純資産のうち大会会計からの収益事業元入金は5億9百万円となりました。

(財務部 舛井昭秀 記)

金沢医科大学氷見市民病院 損益計算書

(自)平成28年4月1日

(至)平成29年3月31日

科 目	決算額	科 目	決算額
医業収益	5,046	医業費用	5,510
入院収益	3,215	材料費	1,351
外来収益	1,810	給与費	3,066
受託事業収益	7	委託費	525
施設設備利用収益	14	設備関係費	120
		経費	220
		指定管理者負担金	228
		医 業 利 益	△ 464
医業外収益	389	医業外費用	0
寄付金収益	2		
補助金収益	381		
雑益	6	経 常 利 益	△ 75

金沢医科大学氷見市民病院 貸借対照表

平成29年3月31日現在

科 目	決算額	科 目	決算額
流動資産	1,225	流動負債	723
現金及び預金	9	未払金	510
未収入金	1,180	預り金	49
徴収不能引当金	△ 7	賞与引当金	164
貯蔵品	38	その他	0
その他	5	固定負債	476
固定資産	86	退職給付引当金	476
工具器具備品	195	負債の部合計	1,199
減価償却累計額	△ 109	純資産	112
車輛	2	元入金	509
減価償却累計額	△ 2	利益剰余金	△ 397
資産の部合計	1,311	純資産の部合計	112
		負債・純資産合計	1,311